

バンカートスクール  
2019年10月ー12月  
募集案内

月「〈見る〉ことをあきらめないための写真と言葉」

新井卓＋トヨダヒトシ @BankART Station

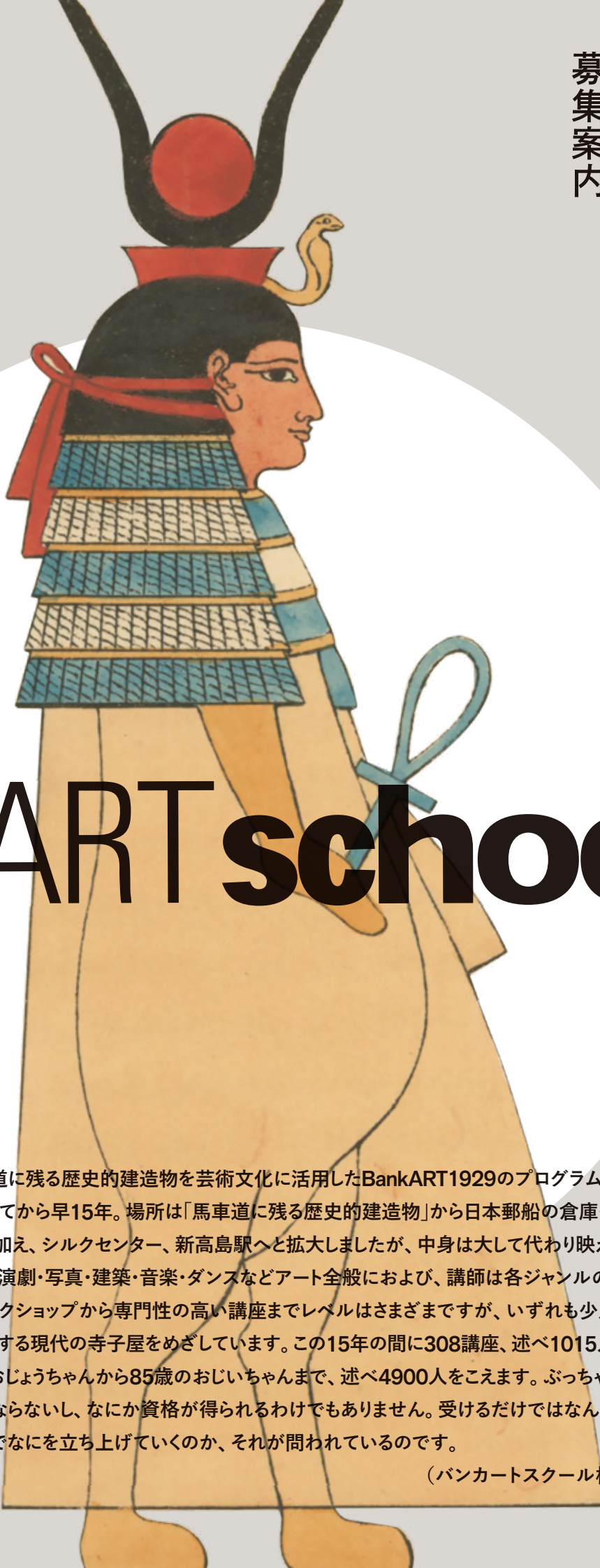
火「ヨコハマみなどみらい物語」BankART1929 他 @BankART Station

水「アートの綴り方 vol.9」福住廉 @BankART Home

木「まちづくり都市横浜を読む」土井一成 @BankART Home

土「心ある機械たち again」ワークショップ編」

牛島達治＋片岡純也＋西原尚 @BankART Station



# BankART school

バンカートスクールは、横浜・馬車道に残る歴史的建造物を芸術文化に活用したBankART1929のプログラムのひとつとして、2004年4月に開校しました。と書いてから早15年。場所は「馬車道に残る歴史的建造物」から日本郵船の倉庫へ、関内の泰生ビルへ、そしていままた泰生ビルに加え、シルクセンター、新高島駅へと拡大しましたが、中身は大して代わり映えしません。バンカートスクールの守備範囲は美術・演劇・写真・建築・音楽・ダンスなどアート全般におよび、講師は各ジャンルの第一線で活躍する人たちばかり。子供向けのワークショップから専門性の高い講座までレベルはさまざまですが、いずれも少人数制で、講師と受講者同士の親密な交流を重視する現代の寺子屋をめざしています。この15年の間に308講座、述べ1015人の講師の方々をお招きました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおじいちゃんまで、述べ4900人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座をうけた受けたで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろここから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。

(バンカートスクール校長 村田 真)

月 19:30 - 21:00

BankART Station

## 「〈見る〉ことをあきらめないための写真と言葉」

新井 卓 + トヨダヒトシ (12/2のみ)

①10/21 ②11/4 ③11/18 ④11/25  
⑤12/2 ⑥12/9 ⑦12/16 ⑧12/23

カメラを通して記録される映像とは、人間にとってどのような意味を持つのか—たとえば、カメラは眼の延長なのか?写真は(真実)を語るのか?といった問題ですが一常に議論されてきました。写真の「よくわからない」とつきあってゆくためには、言葉が必要不可欠です。多くの写真家たちは彼/彼女たちの独自の言葉を紡ぎ、またそれに頼りながら、撮りつけてきました。本講座では、参加者が持ちよる写真の講評とディスカッションに加え、毎回の写真史の講義を中心に、撮りつづけるための言葉を模索します。

あらい・たかし | 1978年川崎市生まれ、アーティスト、映画作家。初期の写真術・ダゲレオタイプ(銀板写真)を独自に習得。近年は映画制作、執筆、共同研究のほか多岐にわたる活動を内外で展開。2016年に第41回木村伊兵衛写真賞、2018年に映像詩『オシラ鏡』で第72回サレノ国際映画祭短編映画部門最高賞受賞。単著に『MONUMENTS』(PGI, 2015)などがある。



とよだ・ひとし | 1993年よりニューヨークを拠点にしアナログのスライド映写機を自ら操作して上映する形式での映像日記作品を発表。ギャラリー、美術館といった空間のみならず教会、劇場や廃校になった小学校の校庭、米国各地の映画祭などでもライブ形式での上映を続けている。2012年に日本に拠点を移す。『ヨコハマ・トリエンナーレ2014』出展。

木 19:30 - 21:00

BankART Home

## 「まちづくり都市横浜を読む～地歴資源、都市構造、地域自治、公民連携の視点～」

土井一成

①10/17 ②10/24 ③10/31 ④11/14  
⑤11/21 ⑥11/28 ⑦12/5 ⑧12/12

横浜は開港期、復興期、人口急増期など市民主体のまちづくりを積み重ねてきたが、現在、人口減少期という未体験の局面を迎えている。持続可能な都市を目指すために、時間・空間・人間の視点から横浜のまちづくりの流れを再確認し、次のあるべき姿を考える。都市横浜に大いにこだわり、過去から未来につながる道を探しに行こう! ゲストあり。



どい・かずなり | 1955年生まれ。横浜市内で地方公務員として40年間働く。1980年に横浜市役所に入り、企画調整局で6大事業の進行管理、都市計画局・企画局等で新横浜地区・山手地区・京浜臨海部等のまちづくりの推進や市長期計画の策定などを担当する。その後、瀬谷区の福祉保健センター担当部長、公民連携を進める共創推進事業本部長、東日本大震災後の水道局長など幅広い行政経験を積み、2016年3月に市を退職する。現在、神奈川県内広域水道事業団副企業長。

火 19:30 - 21:00

BankART Station

## 「ヨコハマみなとみらい物語」BankART1929、他

①10/15 ②10/29 ③11/5 ④11/12  
⑤11/19 ⑥11/26 ⑦12/10 ⑧12/24

時代は平成から令和。関内地区から移転したBankART Stationのある新高島地区は、現在、バブル期 again とでもいえる状況で、猛スピードで高層ビル、アリーナ、ホテルなどが建設中です。ゆったりとした公園や広場を配した外構計画に加えて、オフィスビルを中心とした建築群。建蔽率の制御と容積率の緩和、そして市民への開放という基本コンセプトは、バブル崩壊時代の荒波に耐え、計画から数十年を経た現在、その姿をあらわしつつあります。日産本社の内部を通過する横浜駅東口に向かうインサートされた橋(公道)とショールームや、アトリウムに巨大な16Kスクリーンとカフェを配し、2Fには自社商品が楽しめる美しい空間を展開している資生堂など、これらは「街づくりへの意志」を辛抱強くリレーしてきた官(都市整備局)と民(企業)とのコラボレーションの象徴といえるでしょう。このゼミは、新しく誕生する街の真実の姿をみつけ、きこえない声を聴いていくプロジェクトです。足で稼ぎ、写真を撮り、文章を書き、住んでいる人、住んでいない人にインタビューをし、この街の多様な表情を浮かび上がらせる事ができればと思います。そしてみらいの「みなとみらい物語」を綴っていくではありませんか。

土 16:00 - 17:30

BankART Station

## 「心ある機械たち again ～ワークショップ編」

牛島達治 + 片岡純也 + 西原 尚

①10/19 ②10/26 ③11/2 ④11/9  
⑤11/16 ⑥11/23 ⑦11/30 ⑧12/7

この講座は、「無用の機械たち」とでもいえるような作品をつくる現代美術作家たちによってリレーされるワークショップ形式のゼミ。もちろん各々異なるタイプの作品だが、共通する思考や技術も多い。きっと楽しいゼミになるはず。是非ご参加ください。

うしじま・たつじ | 1980年代半ば頃より動きをともなった作品を発表し始める。表現は、手のひらの中の出来事を考察する事からはじまり、身体的尺度、建築的スケールでの出来事へと拡張し、その領域を自由に行き来しながら現在にいたる。仕組みを介し時間軸にともなう変化(動き)、終わりのないいとなみに惹かれながら、どこにもない「場所」を求め彷徨っている。



かたおか・じゅんや | シンプルな現象をそのまま見せるキネティックな作品を制作している。主な展覧会に、OSTRALE Biennale 019/ド イ ツ /2019、The 22nd ifva Festival and Awards / 香港 / Gold Award受賞/2017。

にしはら・なお | 1976年生まれ。音を軸に、美術制作とパフォーマンスを行なっている。主な展示に「KANGKANGEE Arts Village Project」(屋外常設展示、韓国釜山/2018)、「この音がずっと響きますように」(個展・パフォーマンス、広島、広島市現代美術館/2017)、「六本木クロッシング 2016」(森美術館、東京/2016)、「under35 gallery/BankART 新・港村/2011)。

水 19:30 - 21:00

BankART Home

## 「アートの綴り方 vol.9」福住 廉

①10/16 ②10/30 ③11/6 ④11/20  
⑤11/27 ⑥12/4 ⑦12/11 ⑧12/18

展覧会を「見る」だけではなく「書く」技術を学びます。SNSなどで誰でも発信できる時代ですが、日本語で文章を書く技術を誰もが身につけているわけではありません。受講生が書いた文章を添削しながら、知っているようで知らない日本語の書き方をていねいに指導します。「書く」ことをマスターできれば「見る」ための視線も鍛えられまじ、アートの楽しみ方も倍増するでしょう。学歴、経験、年齢など一切問いません。誰でもご参加ください。



ふくずみ・れん | 1975年生まれ。美術評論家。著書に『今日の限界芸術』、共著に『シルバーアート 老人芸術』他多数。「共同通信」で毎月展評を連載するほか、展覧会のキュレーションも手がける。おもな企画展に『21世紀の限界芸術論』(Gallery MAKI)、『今日の限界芸術百選』(まつだい「農舞台」)。現在、東京藝術大学、女子美術大学、多摩美術大学、横浜国立大学非常勤講師。

## BankART schoolの概要

時間 = 19:30~21:00 (土曜は16:00~17:30)

会場 = BankART Home

横浜市中央区相生町3-61 泰生ビル1F  
JR「関内駅」、みなとみらい線「馬車道駅」  
徒歩5分

BankART Station

横浜市西区みなとみらい5-1

みなとみらい線「新高島駅」地下1F構内

料金 = 1講座(全8回) 12,000円

入学金3,000円(初めての方のみ)

定員 = 18名

## お申し込み方法

- ①受講したい講座名
- ②お名前 ③ご住所 ④電話番号
- ⑤メールアドレスを、メール・電話のいずれかにてお知らせください。

※一旦納入された受講料は返金できません。

※講座によっては別途材料費・資料代がかかる場合があります。

※申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

## お申し込み・お問い合わせ

BankART スクール事務局

school@bankart1929.com

TEL 045-663-2812